



TITLE:

# 京都大学瀬戸臨海実験所振興会水族館月報 No. 3

AUTHOR(S):

---

CITATION:

京都大学瀬戸臨海実験所振興会水族館月報 No. 3. 京都大学瀬戸臨海実験所振興会水族館月報 1952, 3

ISSUE DATE:

1952-12-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/186882>

RIGHT:

# 京都大学 臨海実験所 振興会 水族館月報

No. 3

1952. 11月(12月1日)

行楽の好季節も11月の前半まで、後半は急に客足が少なくなった。11日は文化の日であり且、全国観覧教育強調週間中であつたので、9時から時無料解放し、観覧者には特に質問に応答と貼紙をしておいたのに、水槽の前に掲げてある説明札以上のことを聞く人もなく、また実際に大変混雑で、その様相心り餘裕ももてはかつたであらう。

下旬になつて大変な事が起つた。それは停電である。停電は毎年行事で驚く程(ないか)今年も毎水曜日に8時-17時半の10時間半停電をすると言つたので、現在の海水タンクでは9時間~5時間かにもはいいから、いそいそと準備して約5時間の断水となる。大型槽はとにかく魚の圧迫が甚しいので水拭、バットは悉くこの断水堪えが得ない。そこでイデスで海中に移し、電気がくればまた水槽多すと、口で言うように行ふものである。その途中で魚は傷み、中には魚は死んだり、行方不明になるもの<sup>が</sup>澤山で、くる。実は11~12月にかけて、鯉骨の組立を行ふべく準備し、また今まで手をつけずにいた新々<sup>の</sup>損傷部が、夫々これ以上猶予出来ぬ状態にりつて来たので大工水道屋などを呼んで仕事を進めていく折柄、金の用意が全然ないであつたが、他に方法もなさう、ヤンマーディーゼル6馬力と据付ける事と決心する事とつた。他方、関西配電、紀南配電局に岩城監事と接し、岩城監事の御口添えてエンジンの据付完了まで停電日に特に11時~13時

の送電していいいしく様 にお願いで了解いたす、一応胸を撫で  
下(は)いもの、 実(は)若(い)問題(は)後(に)残(っ)てい(る)事(を)覚(え)てい(て)い(い)だ(い)し  
い。

さもありはあれ、エンジンの格付は一応27日に終了、試運転も好調  
であつた。あと数回調整して5日頃からは正式に使用出来る筈。鯨骨  
は東京の羽原製作所主人 羽原保隆氏から24日來所 早速仕事にか  
かって下さり、30日には背椎の結束を終り、その支柱と7本 水族館陳列  
室に埋め込む工事までが終つてゐる。12月20日頃には完成の予定。  
日中に鯨骨の組上つたものとちやんと陳列してゐる所は そんなにない筈  
である。これも自修の名物の席の一端と誇りに思ふものがあるであらう。

⑤ 11月入場者数

水族館発売切符数

大人 5,753

小人 268

団体 4,583

計 11,203

明光バス発売切符数

大人 6,891

小人 49

計 6,940

18,143

無料入場者

(文化の日、幼稚園、町観光課依頼 他)

2,380

⑥ 観覧券売上金

332,100.00

⑦ 支 出

10月より繰越金

30,589.00

10月分入場料

29,000 - 3,333 (備所山) = 16,667.00

災害時予備金

13,722.00

差引

0.

|       |                                      |           |
|-------|--------------------------------------|-----------|
| 人件費   | (給料, 休日勤務手当)                         | 36,183.00 |
| 光熱費   | (電力料, 木炭代)                           | 6,120.00  |
| 消耗品   | (切符印刷代, 油)                           | 8,950.00  |
| 備品費   | (エンジン代一部及CR据付代)                      | 67,000.00 |
| 修理費   | (海水タンク, 水標保温装置<br>—— 大工修理, 真鯨組立費の一部) | 90,057.50 |
| 材料費   | (魚類及バ食料)                             | 14,740.00 |
| 通信運搬費 | (ハガキ)                                | 250.00    |
| 旅費    | (四ノ一白浜, 大阪-白浜)                       | 750.00    |
| 校立金   | (退職資金, ベースアップ資金,<br>貴女資金, 厚生資金)      | 13,900.00 |
| 租費    | (茶)                                  | 130.00    |
| 契約金   | (秀所山熱帯植物園)                           | 55,140.00 |
| 諸税公課  | (建物及CR物件賃付料6ヶ月分)                     | 25,150.00 |

計 318,371.50

秀所山に対する契約金は 12月に繰越 13,728.50  
 $(332,100 - 1,250) \times \frac{1}{6}$  と 12月分と計算される。

1,250.- は 月光バス株式会社に対する切符印刷費の1ヶ月分です。

現在までに未掛か

|               |            |
|---------------|------------|
| 顕微鏡写真撮影装置     | 19,000.00  |
| ヤンマーディーゼルエンジン | 100,000.00 |
| 真鯨組立          | 82,000.00  |

計 201,000.00

約20万円と云う事になります。この中真鯨組立は12月中旬に竣工すれば3ヶ月と支拂える予定ですが、エンジン代は大阪に飛入りですから月報16,000の予算に照して、これと支拂うためには今後予算外の支出は絶対ない事とし、かつ各費目について厳重に節約をする事が必要になります。

#### ◎入場税

10月分は山崎屋委員に交渉していただくと同意されたい。

免税の件に就きましては、機会ある毎には申入れてはいますが、以後聊か進展しておりません。

入場機が免税となれば、この1年の中にエンジン代が出てくるのですかね。

# ① 11月の気象

|          | 上旬                       | 中旬                       | 下旬                   |
|----------|--------------------------|--------------------------|----------------------|
| 晴天日数(11) | 7                        | 5                        | 5                    |
| 気温       | $\frac{15-20.5}{1.8}$    | $\frac{13.7-21.0}{16.8}$ | $\frac{15-18}{17}$   |
| 水温       | $\frac{20.5-21.5}{21.1}$ | $\frac{19.5-21.5}{20.5}$ | $\frac{20-21}{20.5}$ |

但し： { 気温は南水槽室  
水温は16.2水槽 } で10時に測定

# ② 11月の魚

この月に人気を得ているのは10月と同じくコバンサメとアオリイカである。コバンサメは3日に2匹、24日に1匹を加え、現在5匹が大小3匹のシロサメに随行している。シロサメが3匹に増す以来、1匹のシロサメはくつろぐ場所が足りないので、とうとうスギに2匹ばかりくついてしまった。とうとうスギの皮膚はとても鯨皮には及び、つかめ程に柔らかくなり、大さけ小サメの餌に、無惨につき、これをもって15日に死なせた。今でも時々アイゴ・シオ目とコバンサメがくつろぐ所がある、見つけ次第、捕獲することにしている。アオリイカの他にコウイカ(マイカ?)が8日と26日に計2匹はいつた。流燈に泳ぎ廻るアオリイカとすくくとした体で胴の下面と青く輝かせながら、星の光と下方に曲げてタニマリと底層に

止っているユウイカとの対照も面白い。前者はまに餌につかない  
ツバメウオは次第に快方に向って行く。

ツノダシも生残つてゐるものはまに元気でる。

イトヒキアジも生残つたのは、14~15日頃よりやつと食餌につい  
に。大樽水槽に入れてから1ヶ月目である。

11月に入つてイセエビが解禁となり、7~11日にかけて相当  
これを購入した。これに混つて、ゴシキエビ、ニシキエビがノミ  
つ手に入つた。

No. 2 でヒメヤマノカミ? と記したものは薄厚博士の同意を  
と取つた結果 セトミノカサゴ Brachirus Jordanii

(REGAN) である事が判つた。まに比較的に稀とされているハナ  
ミノカサゴ Pterois volitans (L.) が大小の匹も水槽に  
は入っているのは珍しい事であらう。

10月22日 大森君が採つて来たトビハハリセンボン(10匹)は  
1物も食べずにいたが、この月末に死絶えてしまつた。何と食べ  
はいては、1ヶ月は大文更らう。

## ⑤ 魚 病

水槽の魚には種々の病気があふらう。その病名の診断がつかない  
大いなのだから、と云つて放つて置く事も出来ない。そこで日本油脂  
の徳岡さん(旧職員)に御相談してある試みをやってみる事とす  
た。白点病(勝手名; 体に白斑が生じ特に 眼は白濁して

くる。ひどくなると強い奥まで痒い死人で(もう)

① ウミズズメ 軽症のものに匹に2/10以来Pentachlorophenol-  
Na 塩  $\frac{1}{1000}$  液と筆で塗布を続けている。処置時間 3分位。経緯  
10日で結果は良いと思われる。

② ツバメウオ 1/交 痒いなくなっていったのが24日再び多くの  
小白斑を生じた。そこで25日以來ウミズズメと同じ処置を1しているが  
3日目皮膚は痒いと思われ。

今後(種々)と試みた結果を良く悪いにも書いてみるつもり。徳岡さん  
には試薬や種々少教手に対して心まりの返事(を申し上げます。

### ③ 11月の悪疫

2日小水槽のフックと矢張り間に閉ざされて、スジタルミ、ヨコタミ  
等ノク匹をノ交に殺さされてしまった。

支出の修理費の大工修理とあるのは、このフックと右側の眼から隠す  
ための工作を主としている。また下駄で亀の頭を殴らうとして水槽の縁  
を1たいた叩き、下駄を割った馬鹿者というが、もしこれがまともに亀  
の頭に当たっていたらと思うとゾッとす。

タバコの吸殻と水槽に突込む人がある。タカハトがイスズミとかみ  
研ぎがやって来てつついている。今迄にそれだけで死人だと思われるも  
のはないが、これも困ったものだ。

入場料と規定の割引以下にしてくれと注文のまだ時々あ  
る。その年々頼むのは田や道路の奪取として貯められ金  
ではあろう山奥から下つて来る者達には決まてない。リクセ  
ションで結構、またその人達と相手の金儲けも結構だが、  
更によくよく考えて見ないものだ。

時政隆